

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	I 地域課題への取組						
	地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	浪速区の地域課題について考える	年4回 (6・8・10・12月)	まちの研究会「なにわ区ラボ」	各地活協の運営体制の強化と、地域活動の裾野を広げること念頭に、全4回のラインナップとした。 本年度が役員改選期にあたり、事業の会計を担う役員も大幅に交代することから、会計の勉強会を筆頭に、広報、防災、地域で活動する若手との勉強会を開催することにした。 5月に年間スケジュールと企画概要を掲載したポスターを制作し、各地域に配布した。 	ポスター300部印刷。 (町会掲示板での掲示協力依頼をし、各町会に送付した)
		法人格の取得	法人格取得に関する情報提供	1月	NPOに関する資料の作成・配付	地活協会長と今後の運営に関して意見交換をおこなった際、地活協のNPO法人化に関する相談があったため、法人化の可能性について他事例も含めて検証するとともに、説明資料を作成した。	全地域で展開可能な資料を作成するとともに、まちづくりセンターのホームページに掲載し、閲覧可能とした。 (日東地域活動協議会)
	II つながりの拡充						
			マンション住民に対して、地域活動の認知度向上と地域への参画の促進	5月	マンション住民アンケートの協力 マンションにて、アンケート結果の概要版をポスティング	平成27年度に取り組んだ区内分譲マンションを対象としたアンケート調査について、概要版を作成し、協力マンションにてポスティングを行った。概要版には、地域での防災活動や行政による防災支援メニューも掲載し、情報発信を行った。(左:表面、右:裏面) 	1,500部印刷し、10棟の調査協力マンション全戸(約900世帯)にポスティングを行った。 
				7月8日	マンション管理会社に行政の防災支援メニューの紹介	区役所が区内分譲マンションを対象におこなうメニュー制作をまちづくりセンターが支援。平成27年度に区内分譲マンションを対象としたアンケート調査に協力いただいた管理会社の1つを訪問し、結果報告するとともに、支援メニューを紹介することができた。 	支援メニューについて、関心の高い管理マンションが数ヶ所紹介してもらい、地域との接点づくりを支援する。
				7月26日	宅建協会の役員に行政の防災支援メニューの紹介	分譲マンション対象のアンケート調査の際、浪速区の住宅事情をヒアリングした宅建協会浪速地区長に、調査結果を報告し、防災を切り口とした管理会社へのアプローチについて協力を仰いだ。 	2つの管理会社を紹介いただき、市民協働課とともに訪問。同課が実施している防災講習会(出前講座)の開催支援できる旨を伝えた。
				10月27日	マンションでの防災講習会	分譲マンション対象のアンケート調査に協力いただいた管理会社からの紹介により、浪速区内の1棟のマンションで防災講習会を開催することができ、市民協働課とともに出席した。 	地活協紹介パンフレットを配付し、地域活動について説明。このマンションからは2月に開催される地域の防災訓練にも参加表明があり、地域とのつながりができた。(塩草地域活動協議会)
				7月～	区役所内の子育てつどいの広場にて、地活協パンフレットの配架	市民協働課、保健福祉課と協議し、浪速区に転入してくる世帯に向けた地域情報発信の一環として、区役所内の子育てつどいの広場にて、地活協パンフレット「知ってます? ご近所のチカラ」を配架を開始した。 	子育て中の若い世代に地域や行政の取り組みについて知ってもらう機会をつくることができた。今年度の配布数は約500部。

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	一般の子育て世代に対して、地域活動の認知度向上と地域への参画の促進	7月～	区役所で実施している乳幼児健診にて、地活協パンフレットや行政の支援メニュー紹介チラシの配布	浪速区に転入してくる世帯に向けた地域情報発信の一環として、市民協働課、保健福祉課と協議し、新たに乳幼児健診での来庁者に、地活協パンフレット「知ってます？ご近所のチカラ」と、行政の支援メニューの紹介チラシ(右写真)とを配布セットに追加してもらえることとなった。 人口の流動的な浪速区において、地活協の周知を効率的におこなう試みを実施している。	 ←3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健診で配布。写真は3歳児健診の配布セット。
			10月4日	地域と関わりの少ない子育て世代の参画促進	地域と普段関わりの少ない層にも、住民による防災を紹介する目的で実施した。幅広い住民参加をめざし、地域の子育てサロンや区PTA協議会、防災リーダーなどへの事前告知などを行なった。当日は、区役所防災担当者から地域特性をふまえた防災対策の説明、各地域の防災担当者の紹介、防災士のゲストスピーカーによる親子のため	 地域の防災担当者や子育て世代など64名が参加した。今回は、未就学児をもつ親や小さな子供のいるPTA役員も参加しやすいよう、区社協を通じて保育ボランティア団体に一時保育を依頼。託児スペースを併設し、親子8組の利用があった。
		一般区民に対して地域活動の認知度向上と地域への参画の促進	5月～	浪速区広報にて、マンガと記事での地活協の活動紹介の連載	特に若年世帯の流動的な浪速区において地活協の周知を効率的におこなうことを目指し、浪速区の広報紙「広報なにわ」に「おしえて！地活協！」の記事の提供を始めた。地域活動への関心を持ってもらうためのマンガを導入とし、地活協に関するQ&A、なにわ区ラボの告知・報告などで構成している。 (左:5月号 子ども見守り事業紹介、右:7月号 夏の地活協行事紹介)	- 発行部数:23,500部/月 【ラインナップ】 ・第1回 子どもの安全(子ども見守り) ・第2回 おばあちゃんのごちそう(高齢者食事サービス) ・第3回 夏休みのおでかけ(夏の地活協行事) ・第4回 そうだ訓練、行こう。(防災訓練) ・第5回 敬老の日には父は…(敬老会) ・第6回 運動会に見る、地域のチカラ(秋の地域イベント) ・第7回 ママも笑顔になれる場所(子育てサロン) ・第8回 ドキュメント夜警(歳末夜警) ・第9回 週2回の健康づくり(いきいき百歳体操) ・第10回 中継！予算委員会(運営委員会)
			9月11日	ナニワ区民まつりにて、防災ゲーム体験となにわ区ラボ「ママと防災」告知	ナニワ区民まつりで、昨年にひきつづき、今年度も展示ブースで出展した。防災クイズや防災ゲームを体験してもらおうコーナー「なにわ防災ゲームセンター」を実施し、10月開催予定のなにわ区ラボ	 2種類のゲームを各4回ずつ実施。家族連れなどを中心に、のべ35名の方がゲームに参加。参加者には地活協紹介パンフレットと防災グッズ(5年保証の防災ウェットティッシュ)を進呈。
			1月	地域の歴史調査と情報発信	浪速区内の小学校児童の減少にともない、学校の統廃合や小中一貫校が設立されるなど、学びを巡る環境は変化している。そして、惜しまれつつ廃校を迎える学校も存在する。各小学校歌の歌詞には、地域の風景や歴史などの地域情報が満載されており、それ自体が地域の歴史を知る貴重なテキストと言える。そこで浪速区内の小学校歌の歌詞を収集し、作られた年代、背景などとともにホームページで紹介している。	浪速区まちづくりセンターホームページに記事を掲載している。

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
			4月～	分野別スタッフミーティングの開催支援	【日東】H27年度から導入したリーダー制により、リーダー会議や喫茶のスタッフミーティング行なうことで、スピード感をもって、具体的案運営改善に取り組む体制ができてつある。情報共有や意思決定の場として定着させていくための支援を行なう。 【幸町】スタッフが少ない上に、意思疎通の機会が持てずにいたが、喫茶スタッフミーティングで話しあったこ 【敷津】喫茶スタッフ全体で課題共有後、各班ごとに課題解決を協議することとなった。スタッフ不足と来客減少が潜在的な課題であった	【日東】リーダー会議等での意見を反映し、のぼりの作成やデザートサービスを実施したところ、集客数が増えており、H29年度に向けて事業の自主財源比率が大幅に増加。 【幸町】スタッフ募集ポスターをイベント時に掲示、広く募集することに併せ、定期的に同様の会議を実施することとなった。 【敷津】班ごとのミーティングは現在実施中。ポスターチラシは、2月中に掲示板・回覧板掲示される見込み。
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	担い手の拡大	6月～	「みんなの井戸端会議」の開催支援	昨年度、鶴見区の榎本地域活動協議会で実践されている井戸端会議「あいより」の視察をおこない、浪速区内での初開催として、大国地活協で6月14日にひらかれた。 参加者全員が発言し、何気ない会話の中から地域の課題や情報交換が行われる雰囲気作りをめざしている。 (左:当日の様子、右:告知チラシ)	第1回6/14参加者数:18名 全員にマイクがまわる形式に戸惑う参加者もいたが、徐々に盛り上がり、「楽しかった」との声も。 第2回9/15参加者数:24名 第3回12/13 参加者数:18名 およそ3か月に一度のペースで、定期開催し、普段話せない地域の情報共有ができた。
			7月19日	日東よもやま塾の支援	今年度の役員改選にて新たに選任された地活協会長と、以前から運営委員であるメンバーとで、現状の課題整理および意見交換をする場に同席し、会議運営の支援をおこなった。	日東地域活動協議会にて開催。 新会長と運営委員との間での地域情報の共有と今後の進め方について確認することができた。
	12月6日		なにわ区ラボ「若手勉強会 U(アンダー)50」	まちづくりセンター、区青指会長・区P会長と内容を打合せ、3団体での主催事業として実施した。 「次年度の役員勧誘」が共通課題との認識から「地域に関わる人を増やそう」をテーマに、①新しい仲間を見つける方法②地元の人たちと一緒にできる方法③若手が地域で活躍する方法④地域校区をこえた活動にする方法を、区内のタツジン4人が発表。その後タツジンが各テーブルに座り、他地域との情報交換、ディスカッションの機会を持った。	参加者数:38名 発表後のテーブルトークでは、参加者が相互に具体的なコツをアドバイスしあうことができた。 終了後のアンケートには「今日のアイデアを実践したい」等、前向きな記述が多く、今後の実践につなげることが出来た。(35名回収、うち27名がコメント)	
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】		企業と地域の連携によるコミュニティづくり	4月	大阪市内の緑化事業者による地域への植物無償提供	大阪市内の緑化業者と地活協をつなぎ、企業から地域への植物の無償提供を支援した。 (写真は、植物の受け渡し当日の様子。業者側のスタッフも植栽に参加し、植え方などのレクチャーも)